

地対協コーナー

今号では、7月に開催された委員会の報告をお届けします。7月28日(木)には、脳卒中医療体制検討特別委員会が開催されました。この委員会は、今年度から新たに設置されたもので、「広島県循環器病対策推進計画」に基づき、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進していくことを目的として特に脳血管疾患の分野についての検討を進めております。詳細は、報告をご確認ください。皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地対協ホームページ (<https://citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○脳卒中医療体制検討特別委員会

日時：令和4年7月28日(木)19時00分

場所：Web会議

委員長：堀江 信貴

広島県が策定する「広島県循環器病対策推進計画」に基づき、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進していくため、脳卒中の地域連携パスの活用推進・運用に係る協議を行った。今年度中にひろしま脳卒中地域連携パスデータの分析を開始することを決定した。

報告・協議事項

(1) 広島県循環器病対策推進計画について

広島県健康づくり推進課より、広島県循環器病対策推進計画について説明があった。

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」「第7次広島県保健医療計画」「健康ひろしま21(第2次)改定版」等の関連計画との整合や調和を図りながら基本的な方向性を定めるため広島県循環器病対策推進計画を策定している。

広島県における循環器病を取り巻く現状は、脳血管疾患と心疾患の入院受療率は減少傾向にあるものの全国平均を上回っている。今後はそれぞれの分野で全国平均を下回るよう、①循環器病の発症予防・重症化予防・再発予防【予防】、②循環器病に係る質が高く適切な保健医療提供体制の確保【医療】、③循環器病患者の意思や希望が尊重され、安心して暮らせる社会の構築【共生】の3つのテーマで取り組む計画である。

(2) 広島県地域保健対策協議会脳卒中医療体制検討特別委員会について

本委員会は広島県循環器病対策推進協議会の

部会に位置付けられ、「広島県循環器病対策推進計画」や「広島県保健医療計画」の策定・進捗管理、「ひろしま脳卒中地域連携パス」の活用促進等を協議する予定である。

(3) 脳卒中地域連携クリティカルパスについて

本県では、平成21年度に、県内共通版の地域連携パスが作成され、平成28年度の改訂で「ひろしま脳卒中地域連携パス」が作成され運用されている。平成31年3月と令和2年1月にパスの使用状況調査を行い、急性期医療機関・回復期医療機関・生活期医療機関・介護サービス事業所から回答を得た。パスを利用している機関においてはパスのメリットに関する回答が多くあったが回復期医療機関から生活期医療機関、介護サービス事業所のように初回治療から離れるほどパスを適用した患者が少なくなるといったことも分かった。急性期医療機関では患者情報のフィードバックを望む声もあり、パスを継続して利用してもらえよう説明会を開催することについて意見があった。

(4) ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析要領(案)について

広島県循環器病対策推進計画に基づき、広島県の脳卒中患者の傾向や状態変化等を把握することにより、発症から在宅復帰までの地域連携体制の構築を図るため、ひろしま脳卒中地域連携パスの急性期・回復期・生活期の記載データを集計、分析することとした。

本調査においてはパス発行時の同意確認の際にデータ分析についても同意していただく。なお、本分析は広島大学の倫理審査委員会に諮る予定である。